

スクーバダイビング重器材の 推奨廃棄時期について

Japan
Scuba
Association

日本スクーバ協会

日本スクーバ協会では、ダイビング重器材について下記の兆候が見られた場合はご使用年数に関わらず、使用を止めて買い替えをされる事を強く推奨致します。
ダイバーの安全確保の為に何卒よろしくお願い致します。

BC

BCの本体はナイロン生地です。インフレーター部分は定期的なオーバーホールに依り、良い状態を長年維持できますが、BC本体は擦過、紫外線、又プールなどの塩素により経年劣化を免れません。保守管理の状況次第で劣化の程度には大きな差が発生します。特にダイビングサービスのレンタルBCは劣化が早い時期に起こりやすいのでご注意ください。



レギュレーター及びゲージ等

レギュレーターは定期的なオーバーホールで品質を維持できますが、セカンドステージの本体ケース等プラスチック部分等の経年劣化は発生致します。

またファーストステージの金属部分も目視では確認できない疲労を起こします。

またゲージも残圧計や水深計またコンパス等の本体ケースがプラスチックの場合はおよそ10年前後で劣化が見られる場合がございます。

行き届いた保守管理次第で、経年劣化を遅らせる事は可能ですので一概に推奨廃棄時期を明言する事は困難ですが、ダイビングサービスでのレンタル品など使用頻度の高いものは、5～10年以内で使用を止めて買い替えされる事をお勧め致します。

各種ホース

各種ホースは、各メーカーの推奨に則り2～5年の頻度で新品交換してください。

特にダイビングサービス等でレンタル品として高い頻度で使用されている各種ホースは、2年以内での新品交換を強く推奨致します。

